

感染症発生動向調査事業 病原体調査

平成18年度のウイルス分離・検出状況のまとめ

感染症発生動向調査事業では、感染症の発生状況を把握するために定点医療機関を設定して、定められた疾患の流行の動向を監視し、さらに病原体に関する情報の収集、分析、公開等をおこなっています。感染症の定点医療機関には、臨床診断に基づいて各疾患の患者発生数を把握するための患者定点医療機関と、患者さんから検体を採取して、病原体の分離・同定をするための病原体定点医療機関とがあります。

横浜市には、17か所の病原体定点(小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:5か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:3か所)が設置され、そこで採取された咽頭ぬぐい液、うがい液、便などの検体について、当所で分離培養、遺伝子検査等の病原体調査を実施しています。平成18年度のウイルス分離・検出状況をまとめましたので報告します。

アデノウイルス

アデノウイルスは、咽頭炎、扁桃炎、肺炎などの急性呼吸器疾患、咽頭結膜熱や流行性角結膜炎および乳幼児下痢症や出血性膀胱炎など多彩な感染症を引き起こす病原体です。18年度は一年を通じて24株分離されました。小児科定点では主に上・下気道炎患者由来の検体から分離されました。眼科定点では流行性角結膜炎患者由来の5検体のうち1検体から8型、2検体から37型が分離されました。

インフルエンザウイルス

高熱、筋肉痛などを伴う風邪の症状を引き起こす病原体で、毎年冬季に流行を引き起こします。18年度は、2005/2006シーズンの流行が4月以降も続いたため、7月までにAH1型が5株、B型が1株分離されました。また、2006/2007シーズンは、12月から3月にかけて主に上気道炎の患者検体から、AH1型が7株、AH3型が49株、B型が52株分離されました(詳細は8月号で報告します)。

パラインフルエンザウイルス

パラインフルエンザウイルスは、急性気道感染症、気管支炎、肺炎、クループなどの呼吸器疾患を引き起こす病原体です。18年度は、小児科定点の上・下気道炎の患者検体から2型が5株分離されました。また、5、6月に基幹定点の下気道炎の患者検体から3型の遺伝子が検出されました。なお、全国的な傾向は、2型は一年を通じて散発的に検出され、夏季に3型の流行がみられました。

RSウイルス

冬季の小児のかぜの主要な病因ウイルスの一つで、重症化すると細気管支炎や肺炎等の下気道炎の引き起こす病原体です。18年度は6月に2株、7月に1株が検出された後、10月から1月にかけて51株検出されました。

エンテロウイルス (ポリオウイルス・コクサッキーウイルスA・コクサッキーウイルスB・エコーウイルス・エンテロウイルス71型)

ヒトの腸管で増殖するウイルスで、小児の「夏カゼ」の原因となる病原体で、特徴的な疾患には、ヘルパンギーナ・手足口病があり、重症化すると、無菌性髄膜炎等を引き起こします。18年度は、夏季を中心に14種64株が分離されました。ポリオウイルスの分離時期は春秋のワクチン接種時期と一致していました。手足口病患者由来の12検体のうち9検体からコクサッキーウイルスA16型、2検体からエンテロウイルス71型が分離されました。ヘルパンギーナ患者由来の14検体のうち10検体からコクサッキーウイルスA4型が検出され、このうち1検体からはアデノウイルス1型が分離されました。このほか、それぞれ1検体からコクサッキーウイルスA2型、A10型、ヒトヘルペスウイルス6型が検出されました。なお、全国的な傾向としては、手足口病患者からはエンテロウイルス71型、ヘルパンギーナ患者からはコクサッキーウイルスA4型が優勢に検出されました。

月別ウイルス分離・検出状況(平成18年度)

検査月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	H18年度 合計	H17年度 合計	
検体数		40	38	63	36	33	38	60	47	60	49	65	68	597	540	
分離検出数		13	16	40	26	12	13	18	19	28	37	40	52	314	263	
内訳																
Adenovirus	1型			2		1						1		4	3	
	2型	1	2				1	1						5	3	
	3型			3	6						1			10	3	
	4型													0	1	
	5型													0	2	
	7型													0	0	
	8型			1										1	0	
	37型 (型未同定)					1			1					2	1	
Influenza virus	AH1型	4			1						4	1	2	12	52	
	AH3型									2	7	24	16	49	89	
	B型		1								5	14	33	53	1	
Parainfluenza virus	2型					1		4						5	1	
	3型			3	3									6	6	
RS virus				2	1			2	8	22	19			54	18	
Enterovirus																
Poliovirus	1型								1	1				2	2	
	1型+2型													0	1	
Coxsackievirus A	2型	1												1	0	
	2型				3	1								4	0	
	4型	1	2	15	8									26	1	
	5型						1	1	2					4	0	
	6型													0	4	
	9型				3		2							5	0	
	10型		1											1	0	
Coxsackievirus B	16型						5	4			1			10	11	
	2型													0	1	
	4型													0	11	
Echovirus	5型				1									1	0	
	5型													0	1	
	9型													0	1	
	18型					1								1	1	
	*22型													0	1	
	24型													0	1	
	25型										1			1	4	
30型					1								1	0		
Enterovirus		71型					2		2					4	0	
Mumps virus															0	2
HHV	(HSV)	1型			1			1	1					3	1	
	(HCMV)	5型												0	1	
	6型			2		2	1							5	2	
hMPV		6	7												13	0
未同定															26	32

*現在、Human Echovirus 22型は、Human parechovirus 1型に分類されます。

【 ウイルス担当 】